

第10回 ふくまる夢たまごセミナー



日 時 1月13日(金) 18:00~20:00

場 所 池田市庁舎7階大会議室

内 容 学校の「安全対策」について
～防犯意識を高めるために～

講師 小林 弘典 氏 (池田市立北豊島小学校 校長)

新しい年の最初の講演が、9名の塾生の参加で始まりました。

最初に小林校長先生から「学校の安全対策と聞いて、皆さんは何を連想しますか。」と問われました。塾生一人ひとりから、避難訓練、集団下校、遊具の点検、スクールガードリーダー、防火扉などの多くの考えが出されました。



「学校の安全対策と言っても、火災や地震などの避難訓練や、不審者の対応訓練、防犯、日々の保健のことなど、いろいろな安全があり、広く学校の安全対策と言っても多岐に

わたっています。」と小林校長先生の体験談をもとに、安全安心という学校教

市立学校園における安全対策の一部

- 危機対応マニュアルの作成、見直し、修正
- 防犯訓練(不審者対応訓練)の実施
- 小学1年生に「防犯ブザー」を配付
- 学校警備員⇒スクールガード・リーダーの配置
- モニター付インターフォン、オートロック等の設置
- 子どもの目線による「地域安全マップ」づくりの推奨
- ICタグを活用した「登下校時刻確認システム」の導入
⇒ 防犯カメラの設置

の人との対応マニュアルを徹底する」「教師間の連携体制を整える」など、塾生から様々な意見が出されたあと、小林校長先生にまとめていただきました。

最後に、小林校長先生から塾生に向けて「どれだけ時代が変わっても、私たちの仕事は、子どもの命を預かる仕事という事は変わりません。」とメッセージを送っていただきました。塾生たちは、小林校長先生のメッセージをしっかりと受け取っているようでした。

育の根幹にかかわる内容や、池田市立学校園の安全対策の現状などをお話しいただきました。

グループワークでは、実際にあった中学校への侵入事件の事案について、問題点や改善点を協議していきました。「外部



不審者対応等のために普段からできること

- ① 校内では名札の着用を徹底する。
- ② 笛、ペン等を常時携帯する(笛は名札に付ける)。
- ③ 校内で出会う人には、必ず挨拶(会釈)をする。
※ 不審な人物には「何かご用ですか？」等の声をかける。
- ④ 校内では運動靴を着用する(草履やスリッパはダメ)。
- ⑤ 教室は、できる限り閉めきらず開放しておく。
- ⑥ 教室には、不審者撃退用の棒などを置いておく。
- ⑦ 教室等の出入口に背中を向けている時間をできるだけ少なくする。

<塾生の感想から>

○ 子どもが楽しく学校生活を送るための根幹には、学校が安全な場所であることが大切だと強く感じ、教員をめざす上で、安全への意識を高める貴重な機会になりました。

○ 現場実習の時にも私がスリッパで校内を歩いていると現場の教員の方に運動靴を着用するよう教えていただき、実際に意識の高さを感じていましたが、今日のお話を聞いて、より強く安全対策の重要性を感じました。

○ 教室内での廊下が見える立ち位置、生徒の誘導、避難しやすい環境づくり、早い救命活動など、命を守るための行動を意識したいと改めて感じました。